

1,000人超がつどい 再稼働NO！

なくそテ原発2025 柏崎大集会



「県民投票運動と再稼働問題の今後の情勢」について報告した水内基成弁護士。

「今回の運動は、組織化された個人による継続した活動であり、住民の命や暮らし、人権に関わる特定のテーマについて、住民の意思を直接反映させる直接民主主義の手法だ。その結果、かつて無い県民の関心の高まりを生んだ」と強調。



集会のメインスピーカーは、お笑い芸人のおしどりマコ・ケンのお二人。寄席への出演の傍ら、東京電力の記者会見を一般の報道機関を遥かに上回る1,500回以上にわたって取材する記者活動を、事故以来14年間にわたって継続。東電幹部に「おしどりさんにはうろ覚えでは答えられない」と言わせるような存在に。

「事故で亡くなった作業員の被ばく線量を聞くと、東電は『本人に確認できないのでお話できない』などという驚愕の回答をしている。このこと以外にも国民に知ら

されていない多くの事実がある」「政府は電通(広告代理店)を使って事故や原発のイメージを悪くする報道をさせないようにしている」と指摘。



9月21日に柏崎市文化会館アルフォーレで行われた「なくそテ原発2025柏崎大集会」には、県内外から1,000人を超える人たちが集い、原発ゼロ、再稼働ノーを声高らかに訴えました。

おしどりマコ・ケンのお二人の、まさに熱気溢れる訴えと、東電や政府による数々の国民だまし、真実隠しのたくらみの暴露には、聞いている全員が引き込まれ、予定時間の1時間があっという間に過ぎてしまい、「もっともっと聞きたい」という思いでいっぱいになりました。

また、会場外ではこれも県内外から駆けつけた手作りや自然のものを販売するマルシェが行われ、参加者のもう一つの楽しみになりました。

26日閉会の上越市議会9月定例会では、最終日に日本共産党議員団が重要な

その中の、自然エネルギーによる地域再生を目指している団体による用水路用発電機(塩ビ管など組み合わせた発電機で、数十cmの深さの用水で発電が可能)や、手作りのできるソーラークッカー(太陽光を集めて調理する器具)などは、参加者の強い関心を集めていました。

集会の最後には、前柏崎市議で、2012年まで上越市議として活躍した樋口良子さんの音頭で、「なくそテ原発」のプラカードを一斉に掲げました。

集会終了後には、参加者全員で柏崎市内をデモ行進し、道行く市民に「原発ゼロ」「再稼働ストップ」「再生可能エネルギーで電気の地産地消を」と訴えました。

提案をしました。次週のこのニュースで詳しくお伝えいたします。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.885 2025年9月28日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>